

●浸透性吸水防止材

シーラトコ

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上の制限なし

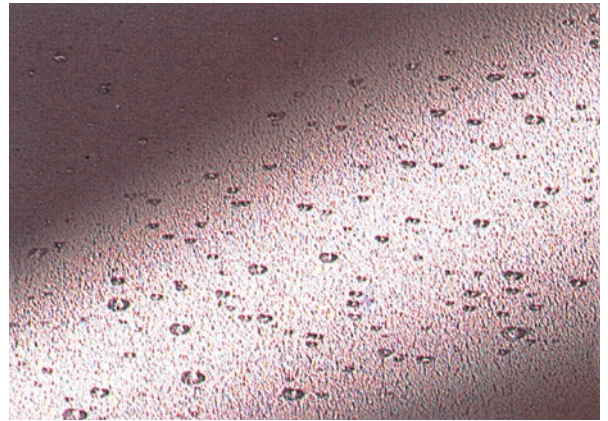


● 浸透性吸水防止材

シールトン

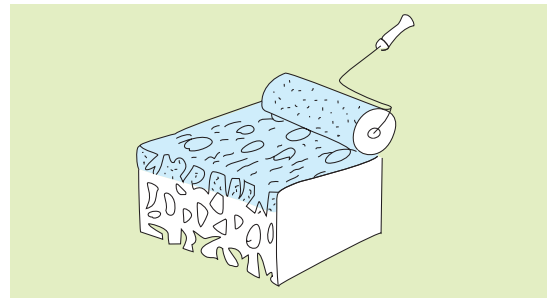
シールトンはコンクリートなどの素材に塗布、含浸させ、素材と化学的に結合（疎水性に改質）することで、しゃ断層を形成し、コンクリートの劣化（浸食、凍害、塩害、エフロなど）を防止する保護材です。

表面をコーティングするのではなく、素材自体に深く浸透し、撥水性を付与しますので、防水性、耐汚染性、耐エフロレッセンス性、防かび性、耐塩害性、耐候性などが一段と向上するシラン系浸透性吸水防止材です。



特長 1 素材に奥深く浸透します。

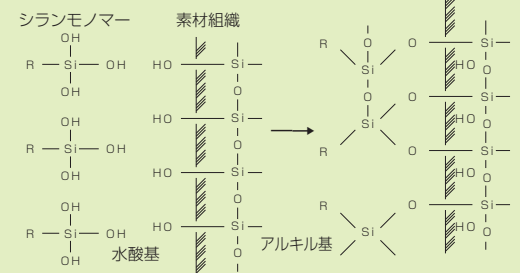
低分子構造で内部まで深く浸透するため、素材成分と結合する形成層が厚くなり、外的劣化要因、（雨水、紫外線、太陽熱、ガスなど）の影響を受けにくく、耐久性を持続します。



2 素材に強力な撥水性を付与します。

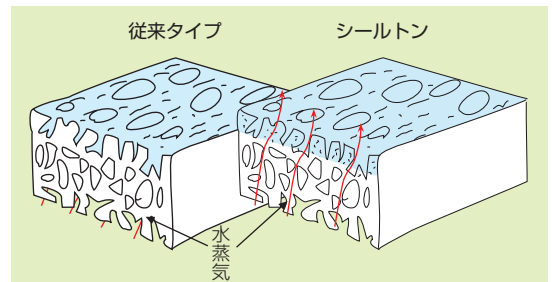
素材の親水性（水酸基）を疎水性（アルキル基）に置きかえますので、吸水防止効果が大きく、エフロ、塩害、汚れ、かび、鉄筋のさびなどの発生を防ぎます。

シールトンの主成分



3 素材の通気性を生かします。

素材の毛細孔を封じませんので、水蒸気の通過がよく、内部結露、凍害防止に役立ちます。



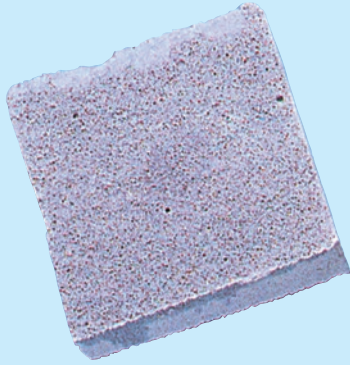
4 素材の質感を損ないません。

膜を形成せず、無色透明仕上げで外観をそのまま生かします。

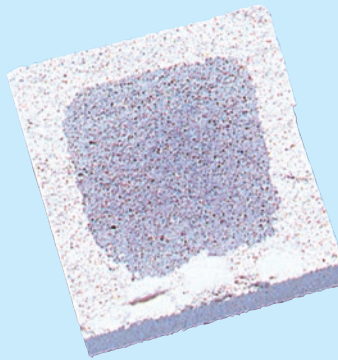
性能

浸透深さ

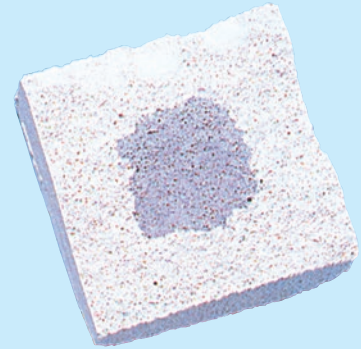
基材 ALC パネル



無塗布



A 社



シールトン

基材 1/2.5 モルタル



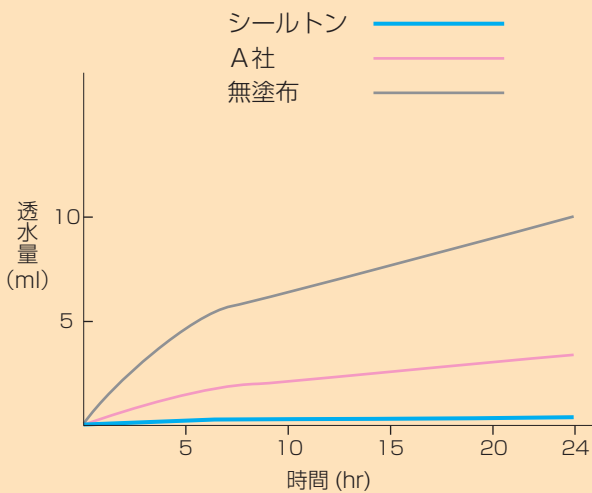
シールトン



無塗布

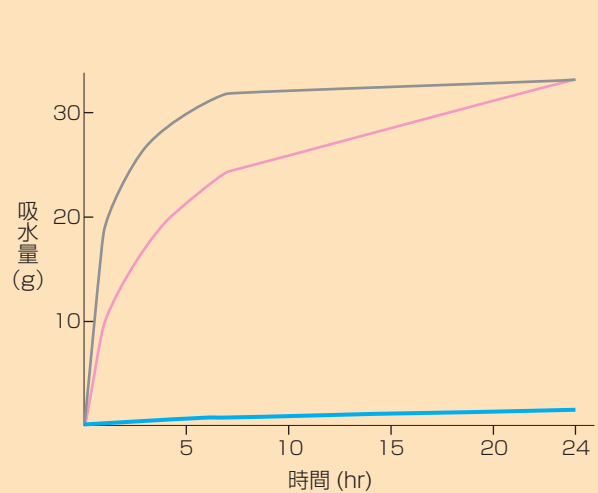
基材に全面塗布後切断し散水（水のぬれ色部分が浸透していない層）

透水性

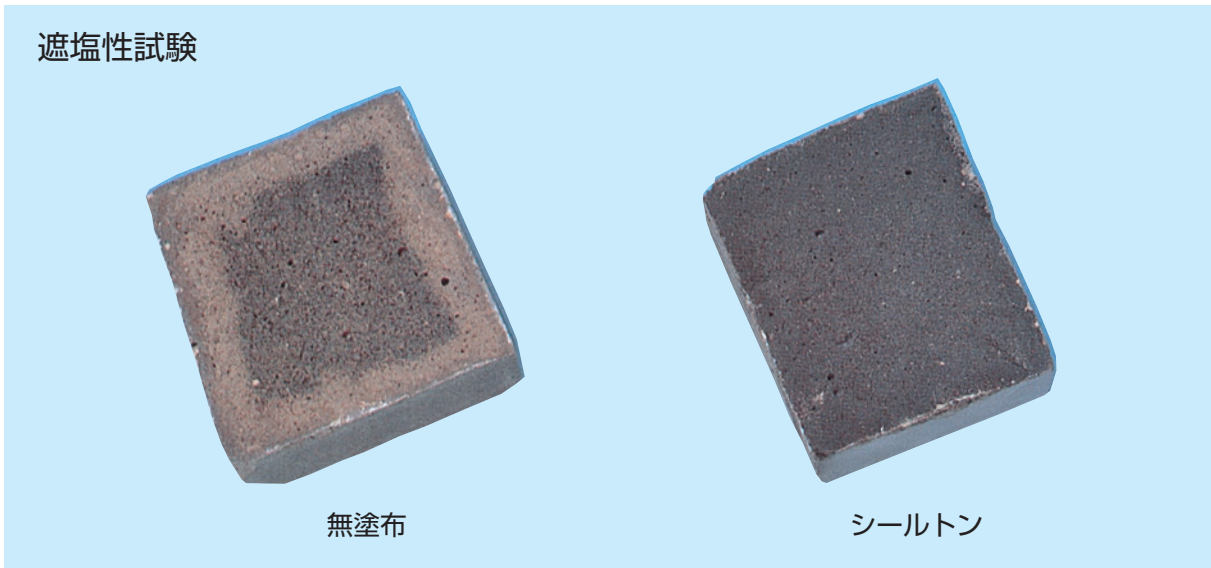
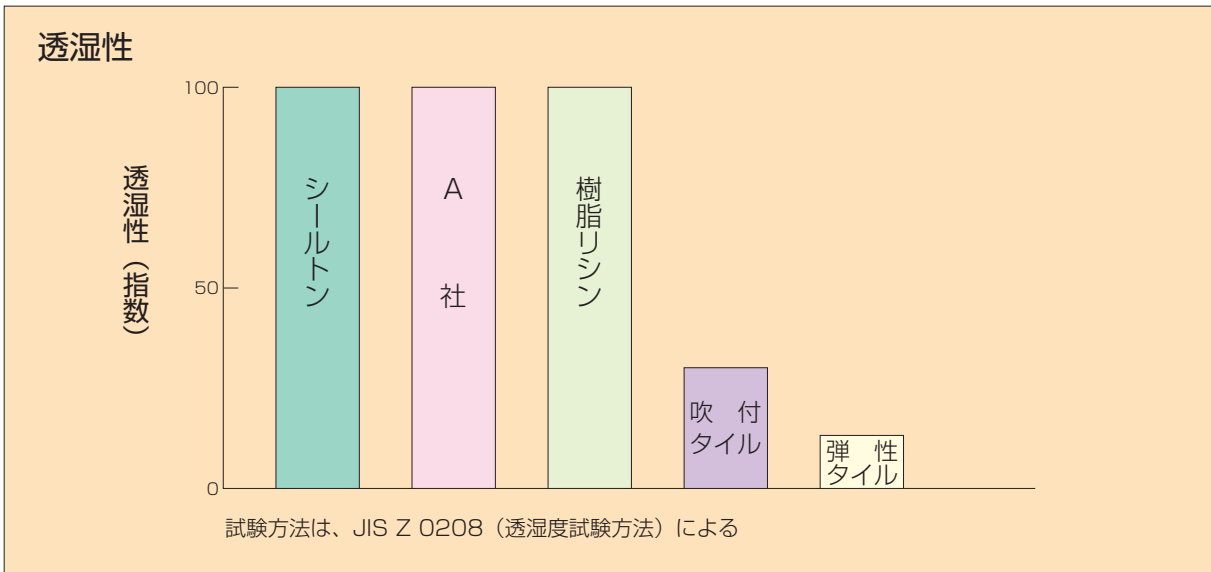


基材 1/2.5 モルタル塗布後、JIS A 6906 透水試験に準じ測定

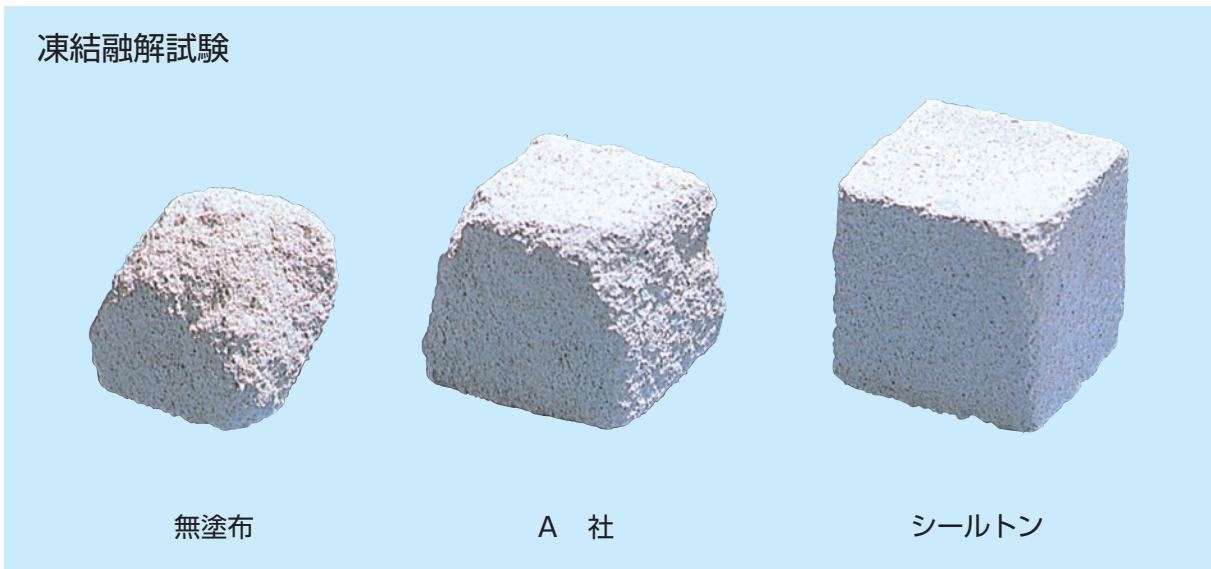
吸水性



基材 1/2.5 モルタル全面塗布後、JIS A 1404 吸水試験に準じ測定



飽和塩化ナトリウム水溶液 1 週間浸漬 (うすい色の部分が塩素イオン浸透している層)



試験は ASTM に準じ気中凍結 (-20℃) ~ 水中融解 (20℃) を 10 サイクル

用途

目的

- 吸水防止
- エフロ防止
- 汚れ防止
- 凍害防止
- 塩害防止

適用素地

- コンクリート
- セメントモルタル
- ALCパネル
- 素焼きタイル
- PCパネル
- スレート
- コンクリートブロック
- セメント系ボード類
- レンガ

試験成績表

※基材は全て1/2.5モルタル

試験項目	試験結果			試験方法
	無塗布	シールトン塗布	比 塗布/無塗布	
透水性	10.2ml	0.41ml	0.04	JIS A 6909 透水試験（ロート法）に準じ、24時間後の透水量を測定
吸水性	35.2g	1.4g	0.04	JIS A 1404 吸水試験に準じ、24時間後の吸水量を測定
温冷繰返し作用に対する抵抗性	8.5g	0.6g	0.07	JIS A 6909 温冷繰返し試験を10サイクル実施後、吸水試験に準じ、1時間後の吸水量を測定
遮塩性	20mm	1mm	0.05	飽和塩化ナトリウム水溶液1週間浸漬後の塩素イオン浸透深さを測定
耐アルカリ性	10.5g	0.5g	0.05	水酸化カルシウム飽和水溶液1時間浸漬後、吸水試験に準じ1時間後の吸水量を測定
耐候性	18.3g	0.7g	0.04	キセノンランプ法250時間照射後、吸水試験に準じ1時間後の吸水量を測定
塗布後の外観	—	変化なし	—	無塗布品と比べ外観を目視判定
浸透深さ	—	3.5mm	—	切断後、水を噴霧し撥水層の厚みを測定

標準塗装仕様

1. 一般素地（コンクリート、セメントモルタルなど）

工程	材料	調合 (重量比)	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔（23℃）	塗装方法
素地調整	●汚れ、エフロ粉、レイトンスなどを除去し、乾燥させる。					
下塗り	シールトン	100	0.12~0.15	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
上塗り	シールトン	100	0.12~0.15	1~2	—	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

2. 吸い込みの著しい素地（ALCパネル、コンクリートブロックなど）

工程	材料	調合 (重量比)	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔（23℃）	塗装方法
素地調整	●汚れ、エフロ粉、レイトンスなどを除去し、乾燥させる。					
下塗り	シールトン	100	0.20~0.25	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
上塗り	シールトン	100	0.20~0.25	1~2	—	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

塗装上の注意事項

- 素地は、十分に乾燥させてください。（含水率9%以下、pH10以下）
- シールトンは、うすめずにそのままご使用ください。
- 押出成形セメント板などの吸い込みの少ない素地は、1回塗り（上塗のみ0.12～0.15kg/㎡）で仕上げてください。
- 気温5℃以下の場合、湿度90%以上の場合、素地面が40℃以上の場合、塗装を避けてください。
- 塗装後の用具は、塗料用シンナーで洗浄してください。なお、使用した刷毛やローラーは他の材料での塗装には使用しないでください。
- 水分が混入しないように十分注意してください。
- 塗装後、本来の性能が得られるまで、2～3日の養生が必要です。
- 過剰な塗布量（一度の厚塗り）は色むら発生の原因になりますので注意してください。

取扱い上の注意事項

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - ・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車輦などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- また、家屋の換気口、空気取入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどをしてください。
- 臭いは食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない場所を定めて保管してください。
 - ・特に下記場所の保管は避けてください。
 - ・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れがある場所など
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火してください。
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート（SDS）をご参照ください。

容量：シールトン……………12kg



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

⑦

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>



□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
□このカタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

20/09